

## 基本構想についてのアンケート・意見(障害者・家族)

まとめ：障害者団体連合会 高橋 博

### 1、現在困っていること(早急に改善してほしいこと)

- GHに入居中に、病気で長期入院すると、GHに居られなくなる現状の改善
- ショートステイの増設と魅力あるものに(複数)
- すぎのき歯科で、引き続き全身麻酔が受けられるように(複数)
- 制度が目まぐるしく変わる中で、申請の簡素化を(複数)
- 障害者が安心して入れる避難場所を(複数)
- 知的障害者がうまく適応できる避難所の確保
- 申請の簡略化と、長期にわたって利用できる制度の充実を
- 医療費の申請が個々で、月度にしなければならず不便
- バリアフリーの住宅が全然足りない。低家賃のバリアフリー住宅を。(複数)

### 2、長期的な計画・展望で実現してほしいこと

- すべての病気に対応できる総合病院
- すぎのき歯科の充実
- 明るくゆとりある空間で、職員をはじめ地域の人々がたくさん関わって入所者の日常をサポートするようなケアホームを
- 障害者の高齢化に備えて、医療設備のある施設の建設・運営を
- 助け合いシステム、ボランティアを効率よく配置するシステムを、区の主導で作る
- ノーマライゼーションを学ぶための拠点づくりを図ってほしい
- 複数の世話人がいるGH<CHを
- 都道の通行が車いすなど歩行が困難。改善してほしい
- 介護者の親の高齢化への対処を検討し、対策を出してほしい
- できるかぎり多くの方が、無理なく楽しく暮らせる街にしていく必要
- 地域の中で、介護・医療・相談などのネットワークシステムを作る

### 3、将来の杉並区のイメージ

- 万人に対してやさしい温かい杉並であってほしい
- 障害者はじめ弱者と言われる人々に配慮されたやさしいまちとしてあるように
- 地域で安心して入ることができるGH, CHを作ってほしい。民間委託で格差があるので、基本は統一してほしい。
- 現在の施設での通所施設の集団検診の存続を、さらに人間ドックなど精密な検査も。
- 障害者が地域の中で、周辺住民にも理解されるホームで安定した生活が送れる杉並区
- 廃校の跡地に、高齢者、福祉施設などいろいろな施設の入る共同住宅があるとよい
- 助け合い、ボランティアなどの人材育成と絆づくり
- 障害のある人、内人がともに集える、普通に生きられる社会になってほしい。必要な時に必要な形で支援する、そうした柔軟なしくみが必要。ともに幸せを感じられる社会になってほしい

#### 4、キャッチフレーズ

○人に自然にやさしいまち すぎなみ

○年をとっても、障害者になっても、災害にあっても、みんなで助け合う幸せなまち  
すぎなみ

○安住の地 すぎなみ

○支えあい 活力の湧く すぎなみ

○ユニバーサルデザイン